

東海大学専門分野連動型外科専門研修プログラム (Ver.2.1)

1. 東海大学専門分野連動型外科専門研修プログラムについて

東海大学専門分野連動型外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科）またはそれに準じた外科関連領域（移植外科、Acute care surgeryなど）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

2. 研修プログラムの施設群

1) 東海大学医学部附属病院と連携施設（15施設）により専門研修施設群を構成します。本専門研修施設群では58名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

2) 施設群の内訳

専門研修基幹施設

名称	都道府県	1:消化器外科,2:心臓血管外科,3:呼吸器外科,4:小児外科,5:乳腺外科,6:その他（救急含む）	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
東海大学医学部附属病院	神奈川県	1, 2, 3, 4, 5, 6	1.山本 聖一郎 2.長 泰則 2.岩崎 正之 2.渡辺 稔彦

専門研修連携施設

No.	名称	都道府県	1:消化器外科,2:心臓血管外科,3:呼吸器外科,4:小児外科,5:乳腺外科,6:その他(救急含む)	連携施設研修責任者
1	東海大学医学部附属大磯病院	神奈川県	1,3,6	島田 英雄
2	東海大学医学部附属東京病院	東京都	1,5	千野 修
3	東海大学医学部附属八王子病院	東京都	1,2,3,4,5,6	山田 俊介
4	平塚市民病院	神奈川県	1,2,3,4,5,6	中川 基人
5	医療法人尽誠会 山近記念総合病院	神奈川県	1,5	杉田 輝地
6	神奈川県立がんセンター	神奈川県	1,3,5	森永 聡一郎
7	大和市立病院	神奈川県	1,2,3,5	藏並 勝
8	医療法人社団松和会 池上総合病院	東京都	1,2,3,5	飛田 浩輔
9	国立病院機構 埼玉病院	埼玉県	1,2,3,4,5,6	早津 成夫
10	水戸赤十字病院	茨城県	1,2,5,6	清水 芳政
11	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	栃木県	1,2,3,5,6	篠崎 浩治
12	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	東京都	4	藤野 明浩
13	都立小児総合医療センター	東京都	4	下高原 昭廣
14	国際医療福祉大学成田病院	千葉県	1,2,3,4,5,6	板野 理
15	東京歯科大学市川総合病院	千葉県	1,2,3,5,6	長谷川 博俊

3. 専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の3年間 NCD 登録数は20,136例で、専門研修指導医は58名のため、本年度の募集専攻医数は10名です。

4. 外科専門研修について

1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。

- ・3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で研修を行います。

- ・専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目にはそれぞれ医師に求められる基本的診療能力、態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。

- ・東海大学専門分野連動型外科研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります（未修了）。

- ・研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCDに登録されていることが必須）は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。

2) 年次毎の専門研修計画

- ・専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。

- ・専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。具体的には、東海大学医学部付属病院で外科領域全般からサブスペシャリティ領域の研修をします。

- ・専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。具体的には、東海大学医学部付属病院または連携施設群のうちいずれかに所属して、一般外科・消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科・移植外科・救命救急科を施設の環境に応じて研修します。

・専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的専門的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。具体的には、東海大学医学部附属病院または連携病院において原則として各専攻医の未研修内容と希望のサブスペシャリティ領域の研修を行います。

・経験症例数

基幹施設：200例以上/年（術者50-100例程度/年）

連携施設：150例以上/年（術者50例以上/年）

3) 大学院コースについて

・大学院進学希望者には、臨床研修と平行して研究を開始することができます。具体的には「一般大学院コース」と「ハイブリッド大学院コース」（臨床助手・大学院生ハイブリッド大学院制度の採用により、有給助手として働きながら学位取得を目指す）の2種類があります。

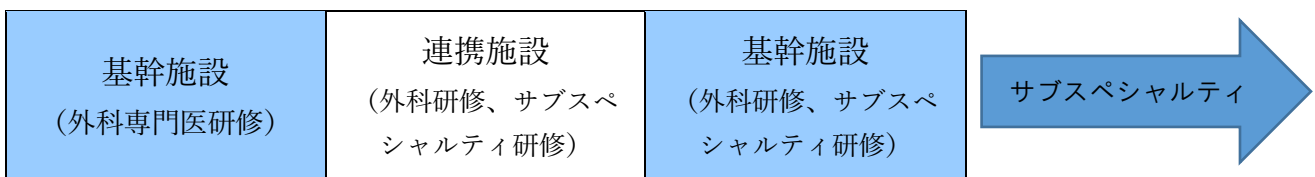
4) 選択可能な研修プログラムコース

以下に東海大学専門分野連動型外科研修プログラムの各コースを示します。

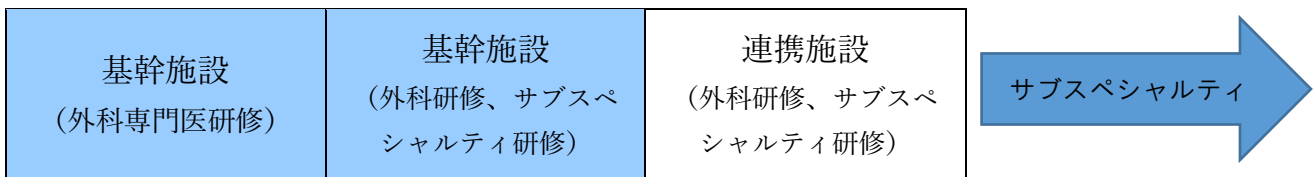
(1) 標準コース

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目以降
------	------	------	--------

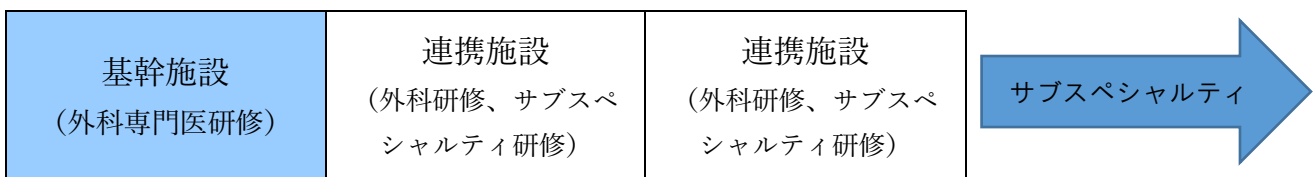
標準コース-A (3年間に専門領域を想定したコース)



標準コース-B (3年間に専門領域を想定したコース)



標準コース-C (3年間に専門領域を想定したコース)

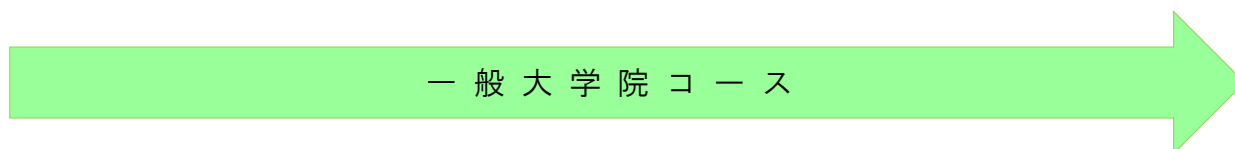


標準コース-D (3年間は専門領域を想定しないコース)



(2) 一般大学院コース

1年目	2年目	3年目	4年目以降
-----	-----	-----	-------



指導教授と研修プログラム管理委員会との協議の上、いずれかのコースを選択します。

一般大学院コース-A

研究	基幹施設 (外科専門医研修)	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	基幹施設(連携施設) (外科研修、サブスペシ ヤルティ研修)
----	-------------------	--------------------------------	--------------------------------------

一般大学院コース-B

基幹施設 (外科専門医研修)	研究	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	基幹施設(連携施設) (外科研修、サブスペシ ヤルティ研修)
-------------------	----	--------------------------------	--------------------------------------

一般大学院コース-C

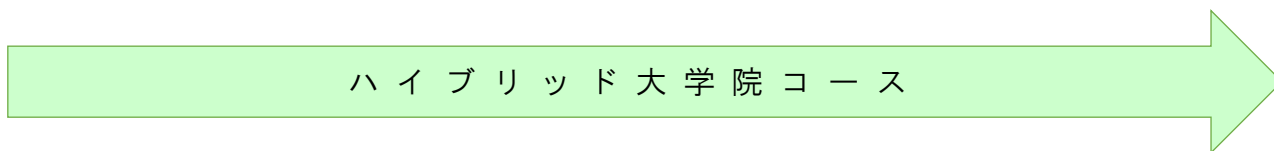
基幹施設 (外科専門医研修)	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	研究	基幹施設(連携施設) (外科研修、サブスペシ ヤルティ研修)
-------------------	--------------------------------	----	--------------------------------------

一般大学院コース-D

基幹施設 (外科専門医研修)	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	基幹施設(連携施設) (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	研究
-------------------	--------------------------------	--------------------------------------	----

(3) ハイブリッド大学院コース

1年目	2年目	3年目	4年目以降
-----	-----	-----	-------



指導教授と研修プログラム管理委員会との協議の上、いずれかのコースを選択します。

ハイブリッド大学院コース-A

研究	基幹施設 (外科専門医研修)	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	基幹施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)
----	-------------------	--------------------------------	--------------------------------

ハイブリッド大学院コース-B

基幹施設 (外科専門医研修)	研究	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	基幹施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)
-------------------	----	--------------------------------	--------------------------------

ハイブリッド大学院コース-C

基幹施設 (外科専門医研修)	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	研究	基幹施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)
-------------------	--------------------------------	----	--------------------------------

ハイブリッド大学院コース-D

基幹施設 (外科専門医研修)	連携施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	基幹施設 (外科研修、サブスペ シヤルティ研修)	研究
-------------------	--------------------------------	--------------------------------	----

3) 研修の週間計画および年間計画

専門研修 1 年目

基幹施設（東海大学医学部付属病院）

	月	火	水	木	金	土	日
7:15-8:00 医局会、術前カンファレンス	○						
7:30-8:30 抄読会・症例カンファレンス		○	○	○	○		
8:30-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
13:00-16:00 午後外来	○	○	○	○	○		
16:30-17:30 教授回診	○						
17:30-内科外科放射線科病理合同 カンファレンス		○					
19:00- チームカンファレンス					○		

専門研修 2 年目

連携施設：例1

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 抄読会、勉強会	○						
7:30-8:00 朝カンファレンス	○			○			
8:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○		
9:00- 手術	○		○		○		
10:00-12:00 午前外来				○	○		
15:30-16:30 総回診				○			
17:30- 放射線科診断合同カンファレンス			○				
18:30- 病理合同カンファレンス			○				

連携施設：例 2

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 手術症例検討会	○						
8:00-9:00 消化器勉強会、内科外科 カンファレンス						○	
8:30-9:00 朝回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-13:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○		○	○	○	
14:00-17:00 午後外来	○	○	○	○	○		
17:00 -16:30 夕回診	○	○	○	○	○	○	

専門研修3年目

基幹施設（東海大学医学部附属病院）

消化器外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:15-8:00 医局会、術前カンファレンス	○						
7:30-8:30 抄読会・症例カンファレンス		○	○	○	○		
8:30-12:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○	○	○	○	○		
13:00-16:00 午後外来	○	○	○	○	○		
16:30-17:30 教授回診	○						
17:30-内科外科放射線科病理合同 カンファレンス		○					
19:00- チームカンファレンス					○		

心臓血管外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30 抄読会、勉強会					○		
7:30-8:00 朝カンファレンス			○				
7:30-8:00 医局全体ミーティング			○				
7:45-9:30 病棟回診 (水：総回診、金：8:30-)	○	○		○	○	○	
8:00-8:30 総回診			○				
8:30- 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00 午前外来	○	○	○	○	○	○	
9:30- 手術	○	○	○	○	○	○	
13:00-15:00 午後外来	○	○	○	○	○	○	
17:00- 循環器内科心臓血管外科合同 カンファレンス					○		
18:00- 勉強会					○		

呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 外科カンファレンス			○				
7:30-8:30 回診	○	○		○	○	○	
7:30-8:30 教授回診	○		○				
8:30-9:00 医局ミーティング	○						
8:30-16:00 外来、病棟業務		○		○	○		
8:30-14:00 外来、病棟業務						○	
9:00-17:30 手術	○		○				
17:00- 回診		○		○	○		
17:30-18:00 内科外科カンファレンス	○						

小児外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30 朝回診	○	○	○	○	○	○	
8:30-12:00 病棟管理、処置、外来診療	○	○	○	○	○	○	
8:30-12:00 病棟管理、処置							○
9:00- 手術		○	○	○	○		
13:00- 検査、処置	○		○				
13:00- 小児外科カンファレンス				○			
16:00- 放射線カンファレンス			○				
16:00- 夕回診	○			○	○		
17:00- 夕回診		○	○				

乳腺外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-9:00 病棟回診	○	○	○	○	○	○	
9:00-10:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
8:00-16:00 外来（月～金）	○	○	○	○	○		
8:00-14:00 外来（土）						○	
8:30-12:00 マンモトーム生検						○	
9:00- 手術（午前）	○	○	○	○	○	○	
13:00- 手術（午後）	○	○	○	○	○		
8:30-9:00 教授回診					○		
16:00-16:30 抄読会勉強、教室会議			○				
16:30-17:30 症例カンファレンス			○				
18:00- キャンサーボード（第3週）		○					

救命救急科

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 朝病棟回診	○	○	○	○	○	○	○
8:15- 翌日8:15 ER（3チームで交代制）	○	○	○	○	○	○	○
8:30-9:30 総合カンファレンス	○	○	○	○	○	○	
9:30- 病棟業務	○	○	○	○	○	○	○
10:00-11:00 総回診					○		
10:00-12:00 午前再診外来	○	○	○	○	○	○	
13:00- 手術、他はすべて緊急手術	○			○			
13:00-14:00 医局全体ミーティング					○		
14:00-15:00 救命センターカンファ					○		
14:00-15:00 抄読会					○		
14:00-16:00 午後再診外来	○	○	○	○	○		
17:00-18:00 外傷カンファ（第2, 4）					○		

移植外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:00 朝回診	○	○	○	○	○	○	
8:00-11:00 病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:00- 手術	○		○	○			
13:00- 手術	○	○	○		○		
14:30-15:30 外科・内科合同カンファ				○			
15:30-16:00 生検・病理カンファレンス				○			
17:00-17:30 夕方回診	○	○	○	○	○		
18:00-19:00 医局全体ミーティング	○						

研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外科専門研修開始 ・ 専攻医および指導医に提出用資料の配布 (東海大学医学部附属病院ホームページ) ・ 日本外科学会定期学術集会参加 (発表)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修修了者：専門医認定審査申請・提出
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修修了者：専門医認定審査 (筆記試験)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本臨床外科学会総会参加 (発表)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成 (年次報告) (書類は翌月に提出) ・ 専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成 (書類は翌月に提出) ・ 指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成 (書類は翌月に提出)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ その年度の研修終了 ・ 専攻医: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・ 指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出 ・ 研修プログラム管理委員会開催

5. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

・専攻医研修マニュアルの到達目標1（専門知識）、到達目標2（専門技能）、到達目標3（学問的姿勢）、到達目標4（倫理性、社会性など）を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得

- ・基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- ・放射線診断・病理合同カンファレンス：手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比します。
- ・Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- ・基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年2月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- ・各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- ・大動物を用いたトレーニング設備や教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- ・日本外科学会の学術集会（特に教育プログラム）、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。
- ・標準的医療および今後期待される先進的医療を学びます。
- ・医療倫理、医療安全、院内感染対策を学びます。

7. 学問的姿勢について

・専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決し得ない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画することで解決しようとする姿勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらに得られた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

・研修期間中に以下の要件を満たす必要があります

- 1) 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加
- 2) 指定の学術集会や学術出版物、筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

- 1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること（プロフェッショナリズム）

・医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。

- 2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること

・患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。

・医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。

- 3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること

・臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し方法を身につけます。

- 4) チーム医療の一員として行動すること

・チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。

・的確なコンサルテーションを実践します。

・他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。

5) 後輩医師に教育・指導を行うこと

・自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。

6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること

- ・健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
- ・医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
- ・診断書、証明書が記載できます。

9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

・本研修プログラムでは東海大学医学部附属病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では稀な疾患や治療困難例が中心となり common diseases の経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うことが非常に大切です。東海大学専門分野連動型外科研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

・施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、東海大学専門分野連動型外科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験

・地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

・本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となって

いる施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能です。

- ・地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携のあり方について理解して実践します。
- ・消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

10. 専門研修の評価について

- ・専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。
- ・専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアルVIを参照してください。

11. 専門研修プログラム管理委員会について

- ・基幹施設である東海大学医学部附属病院には、専門研修プログラム管理委員会と専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。
- ・東海大学専門分野連動型外科専門研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の7つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、救命救急科移植外科）の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と専門研修プログラムの継続的改良を行います。

1) 専攻医による指導医および研修プログラムに対する評価

- a. 毎年、2月から3月上旬にかけて専攻医は「専攻医による評価（指導医）」

に指導医の評価を記載して研修プログラム統括責任者に提出します。

b. 毎年、2月から3月上旬にかけて専攻医は「専攻医による評価（専門研修プログラム）」に専門研修プログラムの評価を記載して研修プログラム統括責任者に提出します。

c. 研修プログラム統括責任者は指導医や専門研修プログラムに対する評価で専攻医が不利益を被ることがないことを保証します。

2) 専攻医等からの評価（フィードバック）をシステム改善につなげるプロセス

a. 専門研修指導医および専門研修プログラムの評価を記載した「専攻医による評価」は研修プログラム統括責任者に提出します。

b. 研修プログラム統括責任者は報告内容を匿名化し、研修プログラム管理委員会で審議を行い、プログラムの改善を行います。些細な問題はプログラム内で処理しますが、重大な問題に関しては外科領域研修委員会にその評価を委託します。

c. 研修プログラム管理委員会では専攻医からの指導医評価報告をもとに指導医の教育能力を向上させる支援を行います。

1 2. 専攻医の就業環境について

- ・ 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。

- ・ 専門研修プログラム統括責任者および専門研修指導医は専攻医のメンタルヘル스에配慮します。

- ・ 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

- ・ 専攻医は研修プログラム統括責任者または研修プログラム委員会に報告できない事例（パワーハラスメントなど）について、外科領域研修委員会に直接申し出ることができます。

1 3. 修了判定について

- ・ 3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかど

うか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

- ・専攻医研修マニュアルを参照してください。

15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について研修実績および評価の記録

・日本外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

・東海大学医学部外科専門研修プログラム管理委員会にて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

・プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

(1)専攻医研修マニュアル：別紙「専攻医研修マニュアル」参照。

(2)指導者マニュアル：別紙「指導医マニュアル」参照。

(3)専攻医研修実績記録フォーマット：「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。

(4)指導医による指導とフィードバックの記録：「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

16. 専攻医の採用と修了、採用方法

・東海大学専門分野連動型外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年7月から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。

次の書類を、東海大学医学部附属病院 臨床研修部の website(<http://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/rinsho/senior/recruit/>)よりダウンロードいただき、郵送（書留）もしくは持参してください。

履歴書	本学所定の履歴書
応募申請書	本学所定の応募申請書 1 通
卒業証明書	1 通
成績証明書	1 通
採用時健康診断書※1	本学所定の健康診断書 1 通
推薦書※2	1 通
医師免許証のコピー	1 通
臨床研修修了証のコピー※3	1 通
臨床研修修了登録証のコピー※3	1 通
専攻医登録画面のコピー※4	1 通

※1本学所定の用紙を用い第3者医療機関で受診したもの

※2任意形式で可

※3臨床研修修了者のみ

※4専門研修プログラム応募者のみ

■採用試験日・応募締切日

未定

■試験会場

東海大学医学部附属病院（神奈川県伊勢原市）

小田急小田原線・伊勢原駅下車バス10分

南口より4番のりば、東海大学病院行き「東海大学病院」下車

北口より2番のりば、東海大学病院経由愛甲石田行き「東海大学病院」下車

17. 研修開始届け

・研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を日本外科学会事務局 (senmoni@jssoc.or.jp)、および外科研修委員会に提出します。

- (1)専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- (2)専攻医の履歴書（様式 15-3 号）
- (3)専攻医の初期研修修了証

・修了要件：専攻医研修マニュアル参照